



Xenium In Situ 解析システムのご紹介

8月5日(金)

15:30 – 16:00 (その後質疑応答)

セミナー開催方式:ハイブリッド

場所:微研本館1F 微研ホール

または Zoom

Zoom でのご参加の場合、登録はこちらから

<https://bit.ly/3ztZWR1>



個別質問のある先生は、微研ホールまでお越しください。19:00 まで承ります。

製品サマリー

In situ 技術における最近の進歩により、高い細胞解像度を維持しながら、組織内で同時に検出できる RNA 数は飛躍的に増加しています。

10x Genomics の Xenium In Situ 解析システムは、FFPE 切片や新鮮凍結切片から、発現していた数百種類の RNA の細胞内局在を検出します。遺伝子を特異的に検出するため設計されたペアプローブと、検出感度を上げるための環状プローブ増幅技術により、高い解像度を保持しつつ多くのターゲット遺伝子発現を解析できるように設計されています。

組織・研究テーマごとの遺伝子既存パネルが用意され、パネルへは遺伝子の追加が可能です。

Xenium は 2022 年末のリリースを予定しています。